

小学部の交流及び共同学習について

小学部コーディネーター 佐藤 深雪

小学部では、旭小学校6年生、吉田小学校5年生と交流及び共同学習を行っています。旭小学校とは今年で40年目、吉田小学校とは9年目の交流になります。

交流会に向けた事前の障害理解の出前授業では、横手支援学校の紹介の他、「障害」という言葉からイメージすることや、社会にある四つのバリア（物理的なバリア、制度的なバリア、文化、情報面のバリア、意識上のバリア）について触れ、言葉が分からない不安を体験してもらいました。

言葉のバリア体験①

スペイン語で「早く逃げて!」と伝えました。



横手支援学校の紹介では、リモートで自己紹介をしました。



言葉のバリア体験②

声を出さずに、誕生日が早い順番に並びました。

そして迎えた1回目の交流会は、本校を会場に、ポッチャやジェスチャーゲーム、絵本の読み聞かせを行いました。2回目は各校を会場に、交流校の児童が、本校児童のために考え、丁寧に準備してくれたゲームや音楽発表を楽しみました。交流した児童の感想を紹介します。

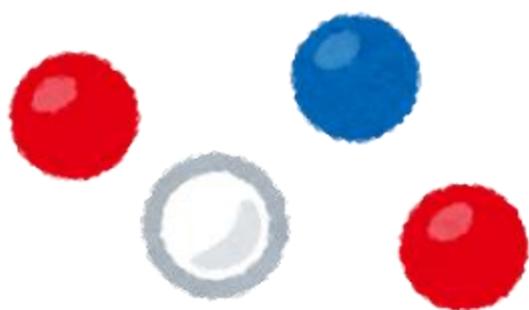
吉田小学校 5年生児童

ポッチャで障害があるなしに関係なく楽しく遊べたので、別に障害は、すごくわるい事じゃないと思いました。

旭小学校 6年生児童

交流会を終えて、苦手なこともあるかもしれないけど、それぞれのよいところもたくさんあるんだなと思いました。苦手なことを解決しながら楽しく過ごしていることを知りました。





～障害理解授業について～

年度当初に、横手市内の幼稚園・保育園・認定こども園等、小・中学校、高等学校に、下記のリーフレットを配付させていただきました。今年度は、本校の児童生徒が居住地校交流を行う際に、事前に出前授業を行わせていただく機会がありました。誰もが安心して共に暮らす社会を目指して、障害理解授業を通して相手を知ることの大切さについて考える機会になってほしいと願っています。ぜひご活用ください！！

共生社会の実現を目指し、多様性を認め、自己理解につながることを目的とした

障害理解のための「出前授業」を実施しています

主な授業内容

小学校	低学年	「あなたは どんな おともだち？」 ・得意なこと、苦手なことの捉え方
	中学年	「だれのための工夫かな？」 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
	高学年	「障害って何だろう？」 ・社会にある四つのバリア
中学校		「相手の気持ちになって行動しよう」 ・心のバリアフリー、多様性の尊重
全学年共通		「横手支援学校の子どもたち」 ・学習の様子、障害の特性や関わり方 ※掲示用のパネルもあります 「体験活動」 ・言葉のバリア体験（分からない不安） ・お互いの気持ちを合わせる体験 等



※内容は、希望や年齢に合わせて相談しながら決めていきます。小・中学校の他にも、高校生、一般の方にも対応します。

居住地校交流の際や総合的な学習の時間などに、障害理解の出前授業を活用してみませんか

<交流会後の感想より>

「私たちみんなが何かに支えられていることを知りました」

令和3年7月 横手市立旭小学校6年生児童

「私たちを理解しようとしてくれたので、私たちと同じだと思いました」

令和3年11月 横手市立吉田小学校5年生児童

